

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年1月15日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部/国際日本学科(学部/学科/研究科/専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年12月18日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	大韓民国
留学先大学	仁荷大学(日本語名) 인하대학교 (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	韓国語/韓国語、英語
留学期間	2023年2月～2023年12月
留学先大学で在籍した学年	4年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):メディアコミュニケーション学科 (現地言語での名称):미디어 커뮤니케이션 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期:3月～6月 2学期:9月～12月 3学期: ~ 4学期: ~
学生数	17,582(2021年時点)
創立年	1954

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ウォン)	日本円	備考
授業料		円	交換留学でした。
宿舍費	2,796,210 ウォン	30 万 5 千 905 円	2024 年 1 月時点でのレート換算です。
食費		30 万円	平日一日 1 食寮の食堂がついていましたが、それ以外は外食でした。
図書費		0円	
学用品費		約 1 万円	教科書を必ず買わなければならない授業と、買わなくてよい授業がありました。
携帯・インターネット費		59,700 円	sim 代です。日本円で払いました。
現地交通費		3 万円	外出時の電車やバス代です。(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		40 万円	留学期間により大きく変動すると思います。
被服費		7 万円	2 月に韓国に到着したため冬服は持っていましたが、夏服は持っていなかったためです。
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		円	
ビザ申請費	0	0 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		1,175,605 円	思い出す限りでの計算になっております。基本的に visa デビットで支払ったため、日本円での計算が多くなっております。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田空港 目的地:仁川国際空港 経由地:なし	
復路 出発地:金浦空港 目的地:羽田空港 経由地:なし	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:JIN AIR 料金:34,760 円 復路 航空会社:ANA 料金:39,949 円 ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:expedia)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:仁荷大学第2生活館) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数4人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学からの案内で入寮しました。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

4人部屋で基本的に日本人のルームメイトがいますが、私の場合前期は日本人3人インドネシア人1人という部屋構成で、後期は4人全員日本人でした。ルームメイトとの関係性は積極的に築くべきです。一日中べったり一緒にいるとやはりコミュニティが限られてしまいますが、困ったときに気軽に相談できるほどの距離感は保っておくべきです。留学先では皆さんが思ったより困ったことが起きます、その時に母国語で相談できる同じ環境の仲間は必要です。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:大学の近くの病院)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

XなどのSNSや、現地の友人からの情報共有で危険地域情報を収集していました。8月に現地の友人とソウルコミックワールド(韓国版コミックマーケット)に行くことを計画していましたが、友人やSNS伝いで無差別殺人予告が出されていることを事前にキャッチできたため、行く日程を変えたことで被害に巻き込まれることなく無事に過ごすことができました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮でも大学でもカフェでもwi-fiが繋がる環境だったのでインターネットに不便は感じませんでした。simカードも無制限のプランを申請していました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で作ったvisaデビットカードが韓国でほとんど使用できたので、日本にいる親からデビットカードに送金してもらっていました。韓国のチェックカードはカード内に2万ウォン以上を2日以上入れっぱなしにしていると月に一度住宅請約総合貯蓄として2万ウォンひかれてしまうので、あまり使用していませんでした。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

特にありませんが肌に合った化粧水や常備薬などは持っていくべきだと思います。私は日本では体調を崩さない方でしたが、留学して数か月で体調を崩したので、薬は多めに持って行って損はないと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input checked="" type="checkbox"/> その他(後期は夏休み中に申請しました。) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
CSR Strategy&Cases	CSR 戦略と事例
科目設置学部・研究科	international business & trade
履修期間	Spring Semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義型(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Hyun Jeong Kim
授業内容	CSR は本当に企業だけが負うべきものなのかという大きなテーマの元、IKEA や Ben&jerry's などの世界的な大企業の例を参考に CSR に対する企業の姿勢を学びました。
試験・課題など	中間試験はオフラインでの記述式試験でしたが、期末試験はグループプレゼンテーション発表が代替課題でした。
感想を自由記入	英語での開講科目です。ビジネスに関する授業内容のため、ビジネスの専門英単語が頻出します。先生も一つ一つの単語に対して丁寧に説明してくれるという訳ではないので、英語でのビジネスに関する用語をある程度知っていると授業に付いていきやすいと思います。また、受講している学生も外国人が多く、さらにグループワークが多いため、英語の実力に自信が無い方は後期に受講することをおすすめします。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Case Studies in International Business		国際ビジネスのケーススタディ	
科目設置学部・研究科	international business & trade		
履修期間	spring semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義型(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Titiriga Remus		
授業内容	IKEA やテスラなどリーディングカンパニーを参考に、成功しているビジネスモデルはなぜ成功できたのか、企業の効率的な利益の出し方など経営学に関連した内容を学びました。		
試験・課題など	中間も期末も記述式のオフラインテストでした。		
感想を自由記入	英語での開講科目です。この授業もビジネスに関する授業です。英語でのある程度のビジネスに関する用語や知識が必要となります。また、大量の授業資料が授業前日の夜に配信されるのですが、その資料を授業前までにざっと読まなければ授業に付いていくことができないような授業でした。しかし先生は本当に良い方で頑張れば頑張った分だけ良い成績を付けてくれます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Korean Society and Politics		韓国社会と政治	
科目設置学部・研究科	general education for english		
履修期間	spring semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義型(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が2回		
担当教授	Eui Kon Kim		
授業内容	韓国の歴史の概要や、政治体制、外交について学びました。		
試験・課題など	中間も期末も記述式のオフラインテストでした。		
感想を自由記入	英語での開講授業です。外国人留学生(特に交換留学生)向けの授業です。韓国を知りたい方は、まずこの授業を受講することをお勧めします。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Consumer Behavior		消費者行動	
科目設置学部・研究科	business administration		
履修期間	spring semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義型(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Kim Minseo		
授業内容	心理的な側面から消費者行動について学び、どのように商品の販売促進を行うのが一番効果的であるか、アディダスやコカ・コーラなど世界的な企業の販売促進方法を参考に学びました。		
試験・課題など	中間も期末も記述式のオフラインテストでした。		
感想を自由記入	英語での開講科目です。こちらの授業は専門用語を一つ一つ先生が丁寧に説明してくれますが、心理学的な単語が頻出し、英語では理解し辛い部分も多いです。そのためやはり授業前の授業資料の読み込みや、専門用語の日本語での解説をインターネットで探すなどの準備をしてから授業を受けることを強くお勧めします。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
외국인전용 대학 한국어 1		アカデミック韓国語	
科目設置学部・研究科			
履修期間	fall semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義型(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回		
担当教授	Park Young Ji		
授業内容	韓国語でのレポートの書き方を中心にことわざや時事ニュースについても学びました。		
試験・課題など	中間も期末も記述式のオフラインテストでした。		
感想を自由記入	韓国語での開講科目です。先生の韓国語を理解できるほどの韓国語の実力が必要です。topik でいうと最低でも 4 級以上だと思われます。topik6 級以上の学生は余裕をもって授業に付いていくことができると思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intermediate Korean		中級韓国語	
科目設置学部・研究科	general education for english		
履修期間	fall semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義型(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Lee Kyoung Bok		
授業内容	韓国語の基本的な文法を教科書を用いて学びました。		
試験・課題など	中間も期末も記述式のオフラインテストでした。		
感想を自由記入	韓国語での開講科目ですが、先生がとても簡単な韓国語で話してくださるため、韓国語の実力 に自信が無くても授業に付いていくことができる内容になっています。topik3 級以上を持っている 方であれば授業内容が少し簡単すぎると思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
English Vocabulary Practice		英単語演習	
科目設置学部・研究科			
履修期間	fall semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義型(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Jang Ji Won		
授業内容	日常会話で用いるような単語ではなく、アカデミック～ビジネスの資料作成などで用いる英単語 を学ぶ授業でした。		
試験・課題など	中間も期末も記述式のオフラインテストでした。		
感想を自由記入	英語での開講科目です。私が受講した他の英語での開講科目より韓国人の英語を学びたい学生 が多く受けている印象でした。韓国人の学生 6 割、外国人留学生 4 割といった感覚でした。 2、3 授業に一回単語テストがあり、単語テストも成績に大きく影響を与えるため、毎時間の復習 をコツコツ行うことをお勧めします。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Business English		ビジネス英語	
科目設置学部・研究科	international business & trade		
履修期間	fall semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義型(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回		
担当教授	Michelle Kwon		
授業内容	お金の管理方法、就職活動、投資についてなど自分の人生プランを作成する際に必要となる知識を学びました。		
試験・課題など	期末テストのみありましたが、期末テストは個人プレゼンテーションで代替されました。		
感想を自由記入	英語での開講科目です。私が仁荷大学で受講した授業のうち一番性格の明るい先生でした。とにかく授業の雰囲気明るく、英語がある程度できればついていける内容でした。色々な価値観を学生同士で共有できるので、自分の視野を広げたい方にお勧めです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
English Conversation		英会話	
科目設置学部・研究科			
履修期間	fall semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	学生とのディスカッション中心(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回		
担当教授	Charles V Brohetti		
授業内容	毎授業ごとに先生や学生が持ち寄るディスカッションテーマをもとに学生とグループディスカッションを行いました。		
試験・課題など	中間試験は先生の前でグループディスカッションをし、期末試験は 3 分以上 7 分未満の自作ポッドキャストを提出する課題で代替されました。		
感想を自由記入	英語での開講科目です。とにかく学生同士で英語で話す機会が多いため、韓国で英語の実力も伸ばしたいという方にお勧めです。私が受講した授業の中では一番学生との交流機会が多かったです。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
マイナビ、リクナビ、ワンキャリア、キャリアタス
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
困ったことがあったら、まず明治大学のキャリアセンターに相談するべきです。私は留学中の 10 月から就活を始めました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	7/9TOEFL iBT 取得
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	ビザ申請(1/13くらい)、取得(1/20)、1/16 航空券購入 1/25～27 プレ授業申請 2/22 大韓民国入国 2/27 授業開始
	4月～7月	4/17～21 中間考査、6/5～9 期末考査
	8月～9月	8/28 授業開始
	10月～12月	10/16～20 中間考査、12/4～8 期末考査、12/18 帰国
留学/帰国年	1月～3月	留学報告書など帰国後の手続き
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

留学全体を通してとても楽しかったです。ここでは大満足の経験ができた要因を私の留学先での生活を振り返りながら、アドバイスも含めて書いていきたいと思います。

まず、仁荷大学自体がとてもお勧めです。キャンパスが仁川にあるため、ソウルまで約 1 時間かかります。その点をネガティブに捉えてしまう方もいらっしゃるかもしれませんが、その分日本人が少なく韓国語上達の場としてはソウルにある大学よりも適していると思います。また日本語学科が存在するため、韓国語ができない方でも現地の韓国留学生と交流する機会があります。私は実際 topik ではなく TOEFL iBT のみで仁荷大学に留学しました。そのため留学初期は韓国語を話すことがほとんどできませんでした。しかし、日本語学科で開かれているサークルに参加しそこで日本語も韓国語も話すことができる現地の韓国留学生と交流していく中で少しずつ韓国語の実力が上達しました。最終的に韓国語で開講している授業を聞けるようになるまで上達したため、現在留学前で韓国語を話すことができずに不安に思っていたりしゃる方もいるかもしれませんが、そこまで大きな負担と捉えず、現地の学生とのコミュニケーションの名目で学んでいくような心構えでも良いと思います。

次に交友関係についてです。私は留学生活を通して現地の韓国留学生の友人がたくさんできました。その要因は私が仁荷大学のサークルに 2 つほど所属していたからだだと思います。一つは先述の通り、日本語学科内で開かれているサークルです。サークル名はピリオドと言い、日本語の文章を韓国語に翻訳することが主な活動内容でした。週 2 回の活動に忙しい時期以外はほとんど参加し徐々に友達を増やして行きました。みんな日本語学科の生徒ということで日本人の学生に対してとても強く興味を持っており、友人もすぐにできました。もう一つはイラスト系のサークルです。これは日本語学科が開いているというわけではなく仁荷大学内のサークルでした。そのため学生も日本語が話せるというわけではありませんでしたが、韓国語のみの環境に対する挑戦の気持ちで後半の学期から所属しました。このサークルでも仲の良い後輩や優しい先輩に囲まれて楽しく過ごすことができました。このように、現地学生との交流の機会をとにかく増やすことで、友人がさらに友人を紹介してくれるという連鎖ができ、充実した人間関係を現地で築くことができたのだと思います。そのため仁荷大学に留学する方だけでなく、韓国の大学に留学する方で現地学生との交友関係を広げたいと思っている方はサークルに所属することをお勧めします。他にも韓日交流会など、とりあえずイベントには勇気を出して参加してみるべきです。交換留学は最大でも一学年以内という長いようで短い期間のため、受け身の姿勢ではなく積極的に行動することを強くお勧めします。